

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	豊かな資源を生かした産業が根づくまちづくり	分野(章)番号	5
政策名(項)	消費者ニーズに対応した農林業の振興	政策(項)番号	I
施策名(目)	経営安定策の推進	施策(目)番号	②
担当課	農林課	担当課長	今村 勝則

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・農業経営の安定化を図るため、経営環境の基盤強化を行う。
------	------------------------------

## 2. 施策の現状分析

施策の概要	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>米価の下落等農産物の価格低迷、農業従事者の高齢化や担い手不足を懸念している。</li> <li>経営に対する人的・金銭的支援を求めている。</li> <li>輸入物(肥料飼料等)の価格に影響されない経営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国では、農林水産業・地域の活力創造プランに基づき、農業・農村全体の所得を今後10年間で倍増させることを目指し政策を展開している。</li> <li>東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能問題により農業経営にも深刻な影響を及ぼしている。</li> </ul>							

  

指標の内容		達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要 認定農業者数	目標			95人	95人	100人			
	実績	92人	95人	94人			100人		
	達成率			99%					
参考① 農業経営基盤強化促進法に基づく集積面積(ha)	目標			314ha	354ha	394ha			
	実績	268ha	274ha	287ha			394ha		
	達成率			91%					
参考② 水稲作付面積(ha)	目標			1,048ha	1,048ha	1,048ha			
	実績	1,033ha	1,019ha	994ha			1,048ha		
	達成率			95%					
参考③	目標								
	実績								
	達成率								
参考④	目標								
	実績								
	達成率								

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		34,188千円	45,705千円	48,727千円	56,420千円	65,404千円	65,330千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	795千円	627千円	533千円	420千円	382千円	344千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	10,448千円	16,400千円	16,400千円
	一般財源	33,393千円	45,078千円	48,194千円	45,552千円	48,622千円	48,586千円
従事者数	正職員	5.18人/年	4.85人/年	4.55人/年	4.45人/年	4.82人/年	4.82人/年
	臨時職員	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年	1.00人/年
人件費	正職員	34,876千円	33,073千円	30,890千円	30,211千円	32,723千円	32,723千円
	臨時職員	925千円	955千円	960千円	870千円	960千円	960千円
退職給与引当金		4,492千円	4,536千円	4,136千円	4,045千円	4,381千円	4,381千円
トータルコスト		74,481千円	84,269千円	84,713千円	91,546千円	103,468千円	103,394千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・認定農業者数は、H23年度92人から微増、微減を経て平成25年度では94人と横ばいに近い状態であるが、集積実績については目標に掲げる数値をほぼ達成してきている状況にある。また、水田の調整面積は、計画以上に作付を減らすなど達成度はやや高い状況にある。	
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・認定農業者であることのメリットなど、現状以上に制度的な整備がされれば、向上する可能性も見えてくる。	
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・認定農業者数が増加することにより、農地の集積面積等も増加し、生産性の向上にもつながり貢献度は高い。		

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物価格の低迷などから、農家の所得がなかなか向上しないことで、後継者不足が深刻な状況である。また、農業従事者の高齢化が進んでおり、労働力が低下している。あわせて、これらを背景として耕作放棄地が増えている。このほか、有害鳥獣の被害も深刻なものとなっており、農業経営を圧迫する要因となっている。</li> <li>・東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能問題による風評被害に対処する必要がある。</li> </ul>
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の状況に応じ効果的な事業を展開するため各種補助金や交付金を継続実施する。</li> <li>・経営の改善を支援し認定農業者の増加を目指すとともに、認定農業者連絡協議会会員を中心に情報の共有を図る。</li> <li>・官民一体となって、所得向上に繋がるよう安全安心なものづくりを通じ売れる商品の生産を支援する。</li> </ul>
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。